

301. 業務分析・設計のための業務モデリング 実践トレーニング

1. 研修要領

・研修場所		出島交流会館(決定)
・研修受講料	税別	¥75,000
・テキスト代	税別	¥5,000
・研修実施時間	18時間	9:30~16:30(6時間/日)
・研修実施日		平成25年8月7日(水)・8日(木)・9日(金)
・講師(FLM)		海老原 孝徳
・定員		16名

2. 対象者

システム開発において、分析工程を担当する方。

3. カリキュラムの概要

複雑化するシステム要求を明確にするには、業務を可視化(業務モデリング)する必要があります。その手法として、業務の流れを可視化するプロセスモデリングと業務で扱う情報の関係を可視化するデータモデリングがあります。本コースでは、両手法を実践する際の分析観点、手順、表記法を講義と演習によって学習します。

4. カリキュラムの詳細(18時間) 3日間

科目	時間	科目の内容
1. システム開発における業務モデリングの必要性	1.0	・システム開発における失敗の現象とその原因・対策 ・業務モデリングの概要
2. プロセスモデリングの観点、表記法、手順	8.0	・プロセスモデリングの観点 ・プロセスモデリングの表記法 ・プロセスモデリングの手順 演習問題1 現行業務フローの作成 演習問題2 新規業務フローの作成
3. データモデリングの観点、表記法、手順	6.0	・データモデリングの観点 ・データモデリングの表記法 ・データモデリングの手順 演習問題3 新規ERモデルの作成
4. プロセスとデータの整合性の確認	3.0	・プロセスとデータの整合性の確認とは ・CRUDマトリックスの作成方法 ・データから見たプロセスの整合性の確認方法 ・プロセスから見たデータの整合性の確認方法 演習問題4 CRUDマトリックスの作成
	18.0	

5. 使用教材

業務分析・設計のための業務モデリング 実践トレーニング(富士通ラーニングメディア)

6. 到達目標

本コース修了後、次の事項ができることを目標としています。

1. システム開発における業務モデリングの必要性を理解する。
2. プロセスモデリングを行ううえで必要な分析観点、手順、表記方法を理解する。
3. データモデリングを行ううえで必要な分析観点、手順、表記方法を理解する。
4. 具体的な例をもとに業務モデリングを行い、業務の流れや扱う情報を整理することができる。